

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.1
1. 定格・環境条件			
1-1. 定格入力電圧	PoE受電 IEEE802.3at (PoE+)/IEEE802.3af (PoE) DC42.5V-57V、528 mA		
1-2. 消費電力	定常時最大19.0W(非給電時2.1W)、最小1.8W		
1-3. 動作環境	動作温度範囲 0~50℃ 動作湿度範囲 20~90%RH(結露なきこと)		
1-4. 保管環境	保管温度範囲 -20~70℃ 保管湿度範囲 10~90%RH(結露なきこと)		
1-5. 適合規制	電磁放射 VCCI クラスA		
1-6. 耐性	静電気放電(ESD) : IEC61000-4-2 (10kV) 放射電磁妨害 : IEC61000-4-3 Level2 電氣的ファストランジェントバースト : IEC61000-4-4 Level3 電氣的サージ : IEC61000-4-5 Level3 (AC line) 耐伝導ノイズ性 : IEC61000-4-6 Level2 電源周波数イミュニティ : IEC61000-4-8 Level4 瞬停/電圧変動 : IEC61000-4-11		
2. 形状			
2-1. 形状及び材料・色彩	大きさ : H31×W169×D60(mm) (突起部は除く) ケース材料 : PC/ABS樹脂 色彩 : サテングレー		
2-2. 質量(重量)	140g		
3. ハードウェア仕様			
3-1. インターフェース	ツイストペアポート : RJ45コネクタ 2ポート(ポート1~2) 伝送方式 : IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T 伝送速度 : 10/100全二重 1000Mbps全二重 適合ケーブル : ツイスト・ペア・ケーブル (EIA/TIA568カテゴリ5e相当以上) 最大伝送距離 : 100m オートネゴシエーション機能 : 10Mbps、100Mbpsの全二重、 1000Mbpsの全二重を相手にあわせて自動的に切り替えて動作します		
3-2. スイッチング	スイッチング方式 : ストアアンドフォワード パケット転送能力 : ノンブロッキング 1,488,000pps/ポート(1000Mbps) 148,800pps/ポート(100Mbps) 14,880pps/ポート(10Mbps) MACアドレステーブル : 2Kエントリー/ユニット バッファ : 256Kバイト/ユニット フロー制御 : 全二重 IEEE802.3X エージング : タイマ 200~400秒 ジャンボフレーム : 9KB 透過可能フレーム : EAP, BPDU HOLブロッキング防止 : 対応		
作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部	
改定日	2019年 4月 23日		

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.2

### 3. ハードウェア仕様

3-3. LED表示	<p>1: :PD Port ツイストペアポート1 PoE受電ポート</p> <p>(1)PoE+受電LED (POWERED [PoE+])        緑点灯:正常にIEEE802.3at (PoE+) で受電        消灯 :IEEE802.3at(PoE+)で受電していない</p> <p>(2)PoE受電LED (POWERED [PoE])        緑点灯:正常にIEEE802.3af (PoE) で受電        消灯 :IEEE802.3af(PoE)で受電していない</p> <p>(3)PoEパススルーLED (PoE PASS THROUGH)        緑点灯:PoE給電機能動作可能        消灯 :受電していない、もしくはIEEE802.3af (PoE) で受電</p> <p>(4)ポート状態LED (LINK/ACT.)        リンク/送受信/通信速度の状態を表示        点灯:緑 : 10BASE-T/100BASE-TXで接続              青 : 1000BASE-Tで接続        点滅:緑 : 10BASE-T/100BASE-TXで送受信              青 : 1000BASE-Tで送受信</p> <p>2: :PSE Port ツイストペアポート1 PoE給電ポート</p> <p>(1)PoE給電LED (PoE POWER FEED)        緑点灯:正常にIEEE802.3afで給電        消灯 :給電していない、もしくはPoE受電機器未接続</p> <p>(2)オーバーロードLED (OVERLOAD)        橙点灯:PoE給電のオーバーロード</p> <p>(4)ポート状態LED (LINK/ACT.)        リンク/送受信/通信速度の状態を表示        点灯:緑 : 10BASE-T/100BASE-TXで接続              青 : 1000BASE-Tで接続        点滅:緑 : 10BASE-T/100BASE-TXで送受信              青 : 1000BASE-Tで送受信</p>
3-4. PoE受電機能	IEEE802.3af 受電機能 IEEE802.3at 受電機能 Physical Layer Classification(2-event) / Data Link Layer Classification(LLDP) に対応 以下の給電方式に対応 Alternative A(ケーブルの信号線 1,2,3,6利用) Alternative B(ケーブルの信号線 4,5,7,8利用)
3-5. PoE給電機能	IEEE802.3at(type1)/IEEE802.3af 給電機能 ポート2で最大15.4W給電可能(装置全体の最大給電電力15.4W) 給電方式 :Alternative A(ケーブルの信号線 1,2,3,6利用)
3-6. PoEパススルー機能	ポート1でIEEE802.3at(type2)対応給電(PSE)機器からPoE受電した場合、 ポート2はIEEE802.3af対応受電(PD)機器へのPoE給電が可能
3-7. カスケード接続	ポート1がAUTO MDI/MDI-Xに自動的に対応 ポート2はMDI-X固定です
3-8. ファン	無

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.3

#### 4. コネクタ ピン配置

4-1. ポート1~2 (1000BASE-T) ポート1はAUTO MDI/MDI-X、ポート2はMDI-X固定です

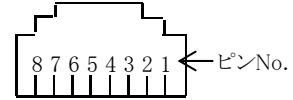
状態	ピンNo.	1	2	3	6	4	5	7	8
MDI-X	信号	BL_DB+	BL_DB-	BL_DA+	BL_DA-	BL_DD+	BL_DD-	BL_DC+	BL_DC-
MDI	信号	BL_DA+	BL_DA-	BL_DB+	BL_DB-	BL_DC+	BL_DC-	BL_DD+	BL_DD-

4-2. ポート1 (10/100BASE-TX) ポート1はAUTO MDI/MDI-Xです

状態	ピンNo.	1	2	3	6
MDI-X	信号	BL_DB+	BL_DB-	BL_DA+	BL_DA-
MDI	信号	BL_DA+	BL_DA-	BL_DB+	BL_DB-

4-3. ポート2 (10/100BASE-TX) ポート2はMDI-X固定です

状態	ピンNo.	1	2	3	6
MDI-X	信号	BL_DB+	BL_DB-	BL_DA+	BL_DA-



(注)左表の信号はGA-PT1TPoEの信号です。  
Rx+, Rx-, Tx+, Tx-に対して、接続相手先の  
信号がそれぞれTx+, Tx-, Rx+, Rx-となるように  
接続してください。

#### 5. 設置方法・付属品

5-1. 設置方法	(1) 据え置き(ゴム足4個装着済み) (2) 壁取り付け(市販の木ねじ(φ3.1)使用)
5-2. 付属品	(1) 取扱説明書 :1冊

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.4

## 6. 安全確保のための使用上の禁止事項

「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。  
 下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。  
 本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) PoE受電IEEE802.3at/af DC42.5V-57V以外では使用しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (2) 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない  
 感電の原因になるおそれがあります。
- (4) この装置を分解・改造しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (5) むれた手で電源プラグを抜き差ししない  
 感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (6) 開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (7) 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で  
 保管・使用しない  
 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- (8) 直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない  
 内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。
- (9) 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない  
 落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。
- (10) この装置を火に入れない  
 爆発・火災の原因になるおそれがあります。
- (11) この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置する  
 けが・故障の原因になるおそれがあります。
- (12) ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T以外の機器を接続しない  
 故障の原因になるおそれがあります。
- (13) 故障時はツイストペアケーブルを抜く  
 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.5

## 7. 安全確保のための使用上の注意事項

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。  
 下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては、責任を負いかねます。  
 本商品のご使用に際しては、以下の点を遵守ください。

- (1) ツイストペアポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う
- (2) IEEE802.3at 対応の給電・受電機器を本装置に接続する場合、Cat5e 以上のケーブルを使用する  
 上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になるおそれがあります。
- (3) この装置は、性能維持のために定期的にメンテナンスをする  
 製品の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページに掲載しております。
- (4) この装置を使用してシステムを設計する場合、冗長化構成を組むなど適切な処置を講じた上で使用する  
 使用中の故障・誤動作などの要因により、通信障害が発生する場合があります。
- (5) この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する  
 極めて高い信頼性が必要とされる用途(鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が  
 極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム)に使用されることを意図した設計・製造はされていません。
- (6) この装置のツイストペアポート側および電源ポート側への避雷器(SPD)の設置を強く推奨する  
 落雷の影響による過電流・過電圧が故障の原因になるおそれがあります。
- (7) この装置は、設置後5年程度での交換を推奨する  
 稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。
- (8) この装置を使用できる環境の制限に注意する
  - ①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、  
 配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。  
 通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。
  - ②VCCI クラスA 情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。  
 この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.6

## 8. 使用上の注意事項

- (1) 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
- (2) 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
- (3) この装置を設置・移動する際は、ツイストペアケーブルを外してください。
- (4) この装置を清掃する際は、ツイストペアケーブルを外してください。
- (5) 仕様限界をこえると誤動作の原因になるおそれがありますので、ご注意ください。
- (6) この装置を壁面に取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下したりしないことをご確認ください。  
また、ケーブルを接続するときは、装置本体を押さえて接続してください。
- (7) RJ45コネクタ(ツイストペアポート、コンソールポート)の金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。  
静電気により故障の原因となるおそれがあります。
- (8) コネクタに接続されたツイスト・ペア・ケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。  
静電気により故障の原因になるおそれがあります。
- (9) 落下など強い衝撃を与えないでください。  
故障の原因となるおそれがあります。
- (10) 周囲の温度が0～50℃の場所でお使いください。  
また、以下場所での保管・使用はしないでください。  
(仕様の環境条件下にて保管・使用してください)
  - 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
  - ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所(カーペットの上など)
  - 直射日光が当たる場所
  - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
  - 振動・衝撃が強い場所
 上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因になるおそれがあり、保証致しかねますのでご注意ください。
- (11) この装置の本体の周辺は密閉せず、放熱のために十分な空間(最低20mm)を設けてください。  
内部に熱がこもり誤動作の原因になるおそれがあります。
- (12) この装置を上下に積み重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすきまを20mm以上設けてください。
- (13) この装置を壁面や床面に設置すると、放熱により壁材または床材が変色(変形)するおそれがあります。
- (14) この装置に長時間身体を触れないでください。低温やけどのおそれがあります。
- (15) この装置を高所に取り付ける場合は、ねじなどで壁面に確実に固定してください。

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	

品名	GA-PT1TPoE	商品仕様書	401-24015-SP02
品番	PN24015		全7 No.7

## 9. 品質保証について

本商品の品質管理には最大の注力をいたしますが、

- (1) 万一、本商品の品質不良が原因となり、人命並びに財産に多大の影響が予測される場合には、本仕様書記載の特性・数値に対し余裕を持たれ、かつ二重回路等の安全対策を組み込んでいただくことを、製造物責任の観点からお勧めします。
- (2) 本商品の品質保証期間はお買上げ日(お引渡し日)より1年間です。
- (3) 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。ここでいう保証は、ご購入または納入された本商品単体の保証(無料修理)に限ります。
  - 機器の交換作業はお客様で実施をお願いいたします。
  - 修理依頼時の当社までの送料はお客様にてご負担ください。
- (4) 保証期間内でも、次の場合には原則として保証対象外とさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や本体ケース開封を含む分解、改造による故障および損傷
  - (ロ) 当社の仕様書、カタログ等に記載されている使用条件、環境の範囲を超えた使用による故障および損傷
  - (ハ) 施工上の不備に起因する故障や不具合
  - (ニ) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
  - (ホ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
  - (ヘ) 取扱説明書で要求されるメンテナンスを行わないことによる故障および損傷
  - (ト) 保証書のご提示がない場合
  - (チ) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (リ) 日本国内以外でのご使用による故障および損傷

当社は、この仕様書に掲載の商品の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害(逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします)もその責を一切負わないものとします。

パナソニックの正規代理店

株式会社ガリレオ

お問い合わせ・ご質問等はこちらへ

TEL : 042-639-0510

HP: <https://galileo-1.co.jp/contact.html>

作成日	2017年 1月 11日	ネットワークソリューション事業本部
改定日	2019年 4月 23日	